

電子カルテ導入からDX化へ —病院の課題解決へ—

2026.3.27

株式会社メディヴァ

病院の課題と医療DXの目的

病院の経営環境

- ①経営がより困難に
 - ・物価高騰
 - ・人材不足
 - ・働き方改革
- ②求められることはより高度に
 - ・医療内容
 - ・適切なプロセス
 - ・患者コミュニケーション
 - ・ICTの活用、情報の提出
- ③今までにないリスク
 - ・パンデミック
 - ・サイバーテロ

現状維持はリスクでしかない。
抜本的な業務と病院経営の
高度化、効率化が求められている

医療DXの目的

国

- ・標準電子カルテの導入
- ・全国医療情報プラットフォーム構築
- ・医療制度構築のインフラ整備
- ・医療、創薬の促進

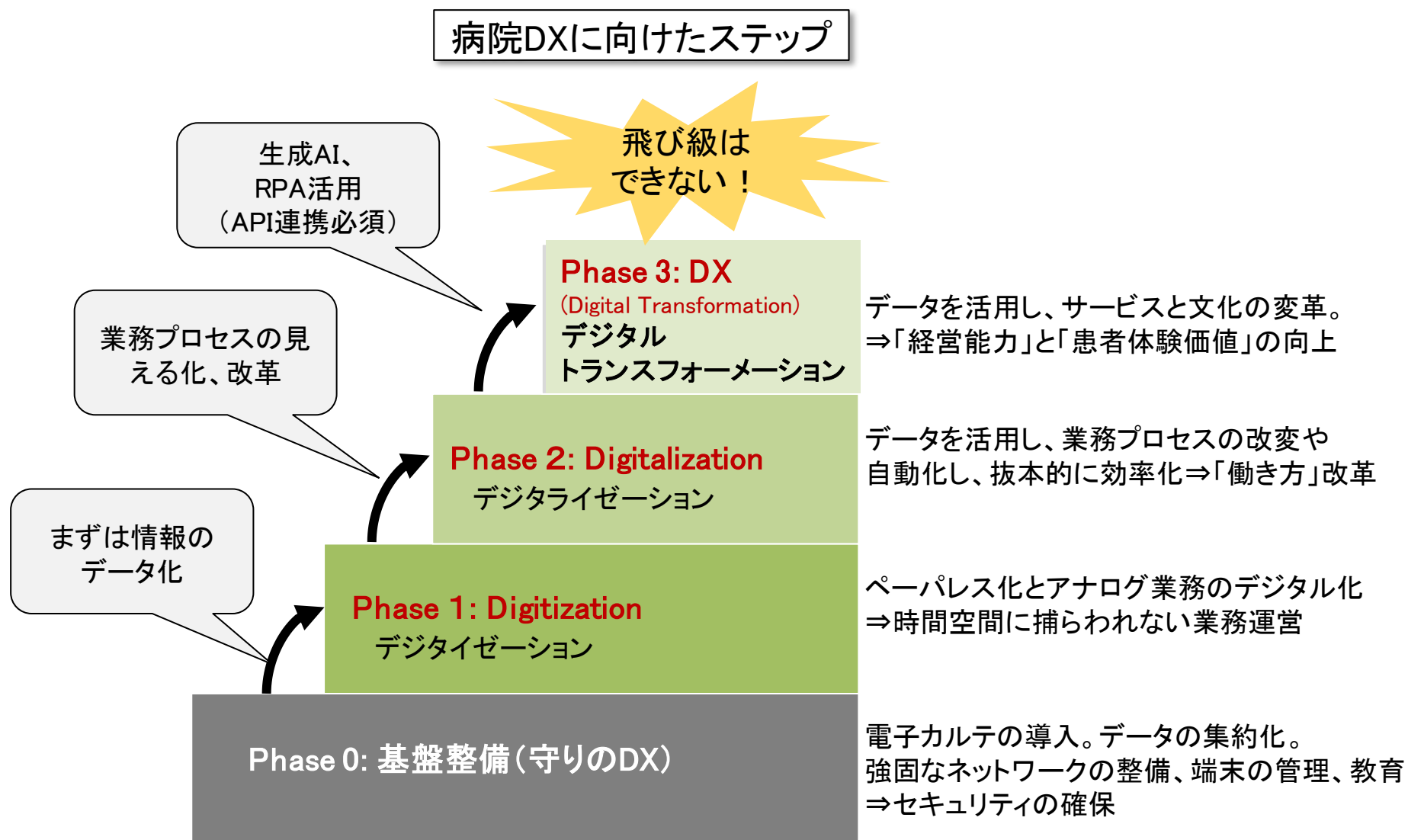


病院

- ・業務のデジタル化による効率化
- ・院内&地域との情報共有の促進
- ・医療サービスの高度化
- ・戦略、組織の変革による生き残り

病院にとっては、電子カルテ導入(IT化)だけではなく、「働き方」と「経営能力」の改革を通した「患者体験価値」最大化が求められる(=DX化)

病院のDX化に向けて、ステップを積み重ねる。



※大病院等資金的余力のある場合はオンプレミス型電子カルテの個別カスタマイズで対応可

中小病院のDX化には、クラウド型電子カルテが推奨

クラウド型のメリットと課題

メリット

課題

クラウドネイティブ

- ・クラウド前提で設計
- ・インターネット回線を使うがセロトラストの考えで管理
- ・API連携が標準
- ・他サービスと連携しやすい
- ・自動アップデートが標準

- ・カスタマイズがしにくい
- ・初期投資は少ないがランニングは高くなるリスク
- ・ネット回線の障害リスク

クラウドリフト

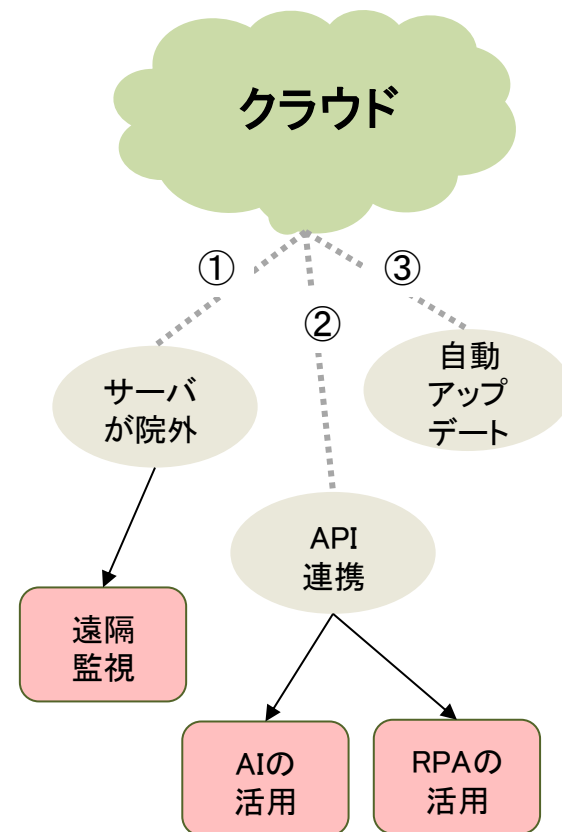
- ・オンプレミス型をクラウドインフラに乗せ替え
- ・設計思想はオンプレ

- ・コスト、拡張性、セキュリティ管理はオンプレとほぼ同じ
- ・API連携は標準ではない
- ・コストメリットが出にくい

オンプレミス

- ・院内サーバーに構築
- ・閉域網なので、堅牢(適切な管理は必要)
- ・個別カスタマイズしやすい

- ・初期費用が高額
- ・APIは標準ではない
- ・他サービスと連携しにくい
- ・自動アップデートはされない
- ・専任SE必要(保守、監視、パッチ)

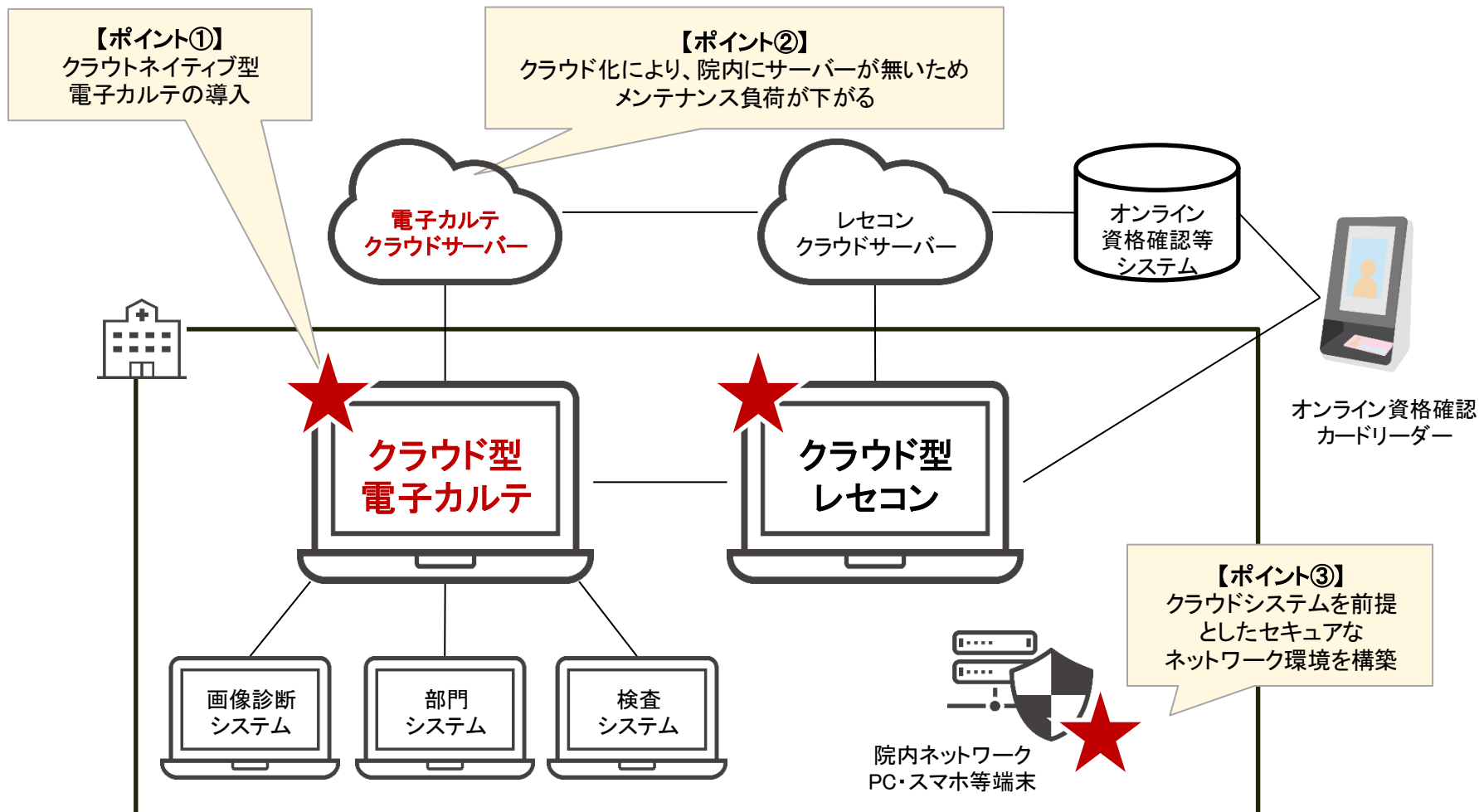


※大病院等資金的余力のある場合はオンプレミス型電子カルテの個別カスタマイズで対応可

Phase 0: 基盤整備

電子カルテの導入。データの集約化。
強固なネットワークの整備、端末の管理、教育を通してセキュリティの確保

セキュアで拡張性のある基盤の整備



Phase 1: Digitization (デジタルイゼーション)

ペーパーレス化とアナログ業務のデジタル化⇒時間空間に捕らわれない業務運営

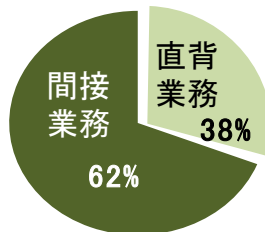
紙、固定PCからの解放



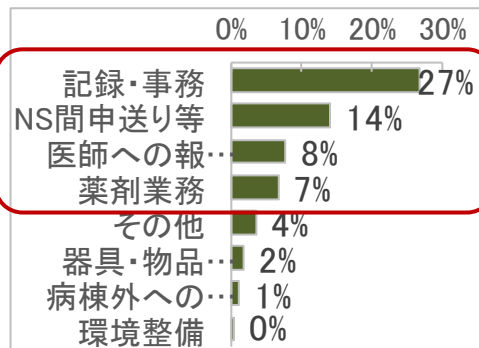
Phase 2 : Digitalization (デジタル化)

データを活用し、業務プロセスの改善や自動化し、抜本的に効率化⇒「働き方」改革

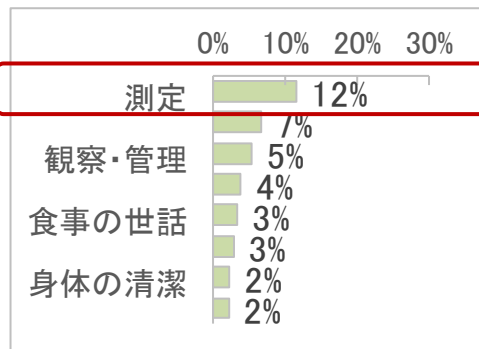
看護師の業務比率



間接業務

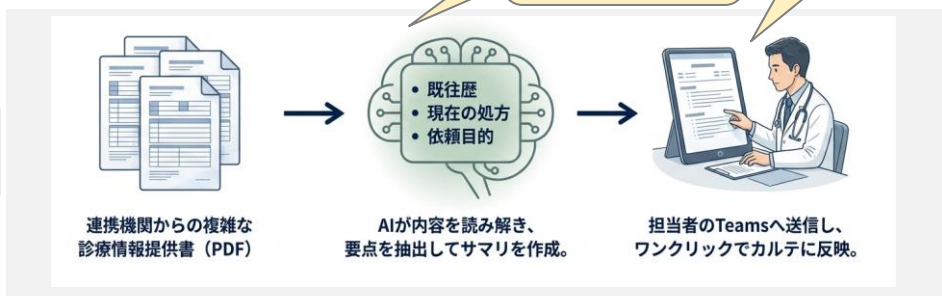


直接業務



生成AIによる業務改革

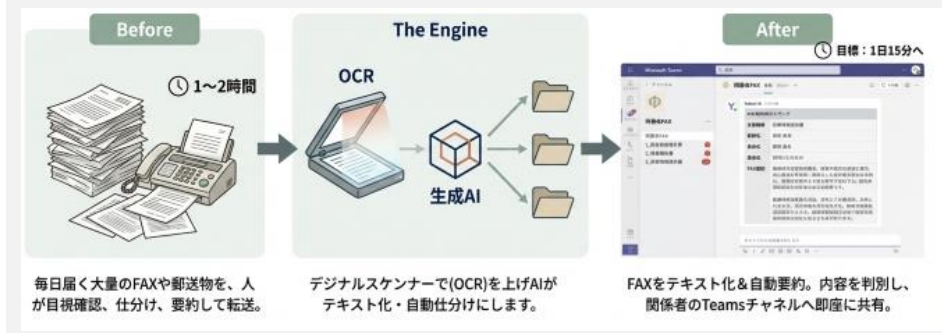
医師



看護師



事務



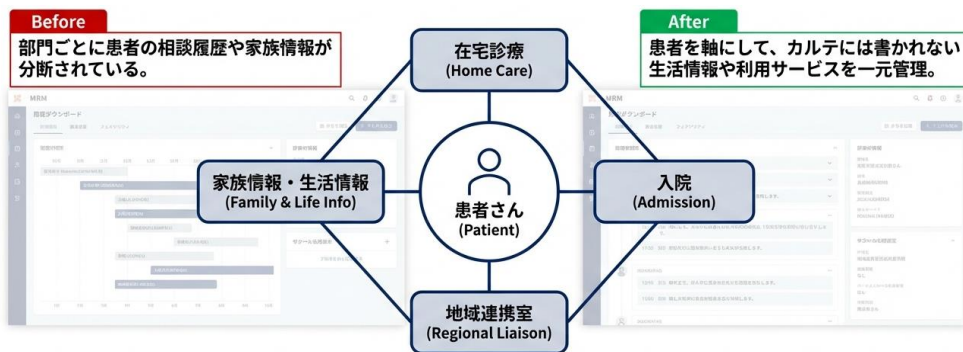
本来の仕事に注力
残業の大幅削減

Phase 3 : Digital Transformation (デジタルトランスフォーメーション)

データを活用し、サービスと文化の変革。⇒「経営能力」と「患者体験価値」の向上

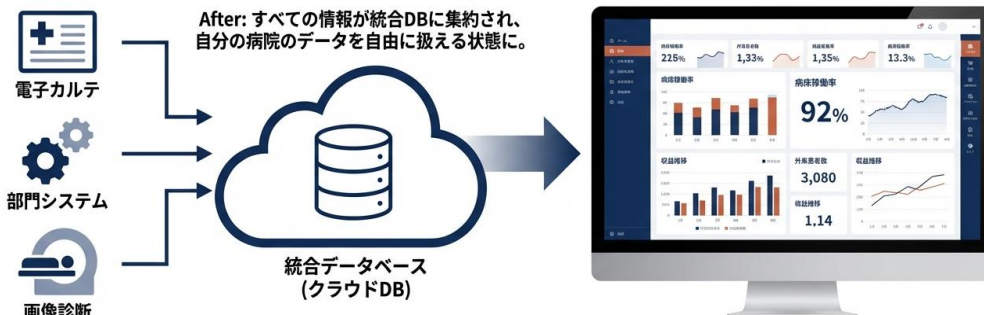
情報の活用によるプロセス、ディジジョンの改革

現場



部門ごとサイロの撤廃。入院前、退院後を含めた患者情報を部門横断で把握することにより、より良く患者を支える医療、看護、リハを提供。

経営



あらゆる情報をリアルタイムで把握し、経営判断に活用。適切に共有することにより、経営の見える化、活動のベクトル合わせ、KPI管理。

病院の「DX化」ステップアップ・パッケージ(イメージ)

費用、人材が掛けられない中小病院等でも、DX化に向けてステップアップするクラウド型パッケージ型支援



START

電子カルテ導入で、入力業務が半減!

ペーパーレス化と情報のデジタル管理によって業務負担を軽減。さらにクラウド型電子レセコンを導入することで、レセプトチェックの業務もミスも削減でき、業務効率化を加速します。

クラウド化のメリットとは?

- 院外から接続が可能となり、場所に依存せずに記録等業務が可能になります。
- Web予約、Web問診、AI、RPA、CRM...などの外部システム連携が容易になるため、柔軟なサービス拡張が可能になります。
- 院内にサーバーが無いので、メンテナンス負担が下がります。

ネットワーク構築を熟知した専門家がセキュリティ対策も万全にしてくれて安心!

STEP 2

PC、スマホを活用して、場所と時間に縛られない働き方

院内Wi-Fiの整備とスマホの全スタッフ貸与で、いつでも記録業務と患者情報へのアクセスが可能になります。

訪問診療などの移動時にも有効活用できるようになった!

STEP 3

生成AIの活用で書類作成時間を80%削減

AI音声入力アプリを使いキーボードを問わずにカルテ入力を行う

専門性の高い業務に専念でき、スタッフもやりがいを感じてくれるように。

STEP 4-A

Web予約、Web問診、スマート決済などの導入で患者さんの利便性アップ!

最新システムを導入することで業務を効率化しつつ、患者さんも受診しやすくなり、満足度アップにも。

増患に成功! 利益率も満足度も増えてきた。

STEP 4-B

Web予約、Web問診、スマート決済などの導入で患者さんの利便性アップ!

最新システムを導入することで業務を効率化しつつ、患者さんも受診しやすくなり、満足度アップにも。

増患に成功! 利益率も満足度も増えてきた。

GOAL

患者さんに愛され、スタッフが生き生きと働く病院へ

電子カルテをはじめ、生成AIやアウトソーシングなどによって病院DXを実現。その先に生まれるのは、スタッフが医療に集中でき、やりがいを持って働ける職場環境です。